

◎電機部諸君ニ訴フ

問題ヲ結集シタルハハ組織問題ノ限ニテ多量ノ以テ組織ヲ其處ニ
 々本員ニ同意ヲ求メタル者凡百廿五日正内ニ委員會ヲ開キ本
 會ハレサレニ立至リタル者會務部ハ之ヲ組織スルコトニ決シ
 合ニ組織シテ閣下同會ハ同種ノ其若國聯合会ノ組織ノ如ク
 望ミ給ヒタル者從業員中凡百廿五日正内ハ總同盟大國金國等國
 務員ニテ五十員組織スルコトヲ決定シ會費ヲ總同盟ノ一割ノ者員會
 ノ餘分則百二十員日圓國等國聯合會(ナリキ)ノ組織ニ付
 休工則ハ從來如ク從業員ニ其苦ニ非無難ニ苦難ニ言ハシムル
 ◎電機部諸君ニ訴フ
 四年五月廿五日 四月廿五日
 三年五月廿五日 四月廿五日
 二年五月廿五日 四月廿五日
 ◎電機部諸君ニ訴フ 八十名

◎電機部諸君ニ訴フ

財團法人協働會大阪支所

タルガ基金分配ニ當リ會社側ハ各自ノ釀出額說ヲ主張スルニ對
 シ從業員側ハ基金全部ヲ從業員ニ分配スベシト主張シ遂ニ二十七
 日ヨリ電機部職工五十名ヲ中心トシ電機部職工三十名合計八十
 名罷業ニ入りタリ

電機部諸君ニ訴フ

電機部諸君ニ訴フ

會社側ハ今回我々ノ組織セル共濟慰安機關ナル淀惠會ヲ突然
 解散スル事ニシタ尙解散スル事ニ際シテ會ノ積立金ハ會社側ガ
 五十錢從業員側ガ二十錢ノ割合デ分配スルト云フノデアアル而シ
 テソノ理由トシテ

(一)會ノ委員會ガ常ニゴタゴタスルカラ解散スル

(二)會ノ拵金ハ從業員一人ニ對シ會社側ガ五十錢從業員側ガ二
 十錢デアツタカラ此ノ割合デ分配スルノガ當然デアルト云
 フ理由ヲ附ケテキル